

医学部教育目標

「至誠一貫」の精神のもと、真心と情熱を持って医学・医療の発展と国民の健康増進と福祉に寄与する人材を育成する。

1. 質の高い患者本位のチーム医療を実践できる知識、技能および態度や習慣を身につける。
2. 問題を的確に捉えて、主体的に対応し、解決する能力を身につける。
3. 自己の知識、技能および態度や習慣を客観的に評価し、日々研鑽する能力を身につける。
4. 共学する歯学・薬学・保健医療学部生との交流などを通じて、広い教養と豊かな人間性を身につける。
5. 医学・医療の国際化に対応できる能力を身につける。
6. 研究分野の発展に寄与できる創造性を身につける。

歯学部教育目標

「至誠一貫」の精神のもと、真心と情熱を持って歯学を通して医療の発展と国民の健康と福祉に寄与する人材を育成する。

1. 歯科医療を地域・社会との関係において把握し、患者やその家族との信頼関係を重視しながら、チーム医療の一員として活躍できる知識・技能および態度を身につける。
2. 口腔領域の疾患を全身との関わりにおいて把握する能力を身につける。
3. 歯科医療に係わる問題を正しくとらえて解決する能力を身につけ、生涯にわたって学習し続ける習慣を身につける。

薬学部教育目標

「至誠一貫」の精神のもと、真心と情熱を持って、薬学を通し医療の発展と国民の健康・福祉に寄与する優れた人材を育成する。このために学生の教育目標を以下の通り定める。

1. 医療を担う薬の専門家として、薬学専門領域の高度な科学的知識と技能を身につける。
2. 医療の担い手としての高い倫理性と豊かな社会性を身につける。
3. 社会のニーズを的確に理解し、科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力と態度を身につける。
4. 自己の知識、技能および態度や習慣を客観的に評価し、日々研鑽する能力を身につける。
5. 医学・歯学・保健医療学部生との交流を活かし、質の高い患者本位のチーム医療を実践できる知識、技能および態度や習慣を身につける。

保健医療学部教育目標

保健医療学部は「至誠一貫」の精神のもと、真心と情熱を持って保健医療学、特に看護学、理学療法学及び作業療法学を通し保健医療の発展と国民の健康・福祉に寄与する優れた人材を育成することを目的とする。そのために、次の目標を定める。

《看護学科・理学療法学科・作業療法学科共通》

1. 人間の生命・尊厳に対して畏敬の念をもち、他者への理解と共感に基づいて人権を擁護することができる能力を身につける。
2. 共学する医学・歯学・薬学部学生との交流などを通じて、広い教養と豊かな人間性を身につけるとともに、様々な学問・文化を学び、幅広い視野と柔軟で創造的な思考力を身につける。
3. 生涯にわたって研鑽していくことができる能力を身につける。
4. 保健、医療、福祉に関わる多くの専門職に対して信頼と尊敬をもって連携し、チーム医療を実践することができる能力を身につける。
5. 保健医療学・医療の国際化に対応できる能力を身につける。
6. 研究分野の発展に寄与できる能力を身につける。

《看護学科》

7. 論理的思考に基づいて看護学を探究するために、自ら考え、判断し、行動する主体性と相手の気持ちや立場を尊重する豊かな感性をもって看護ケアを実践する能力を身につける。

《理学療法学科》

7. ひとりひとりの身体機能、動作、自己実現に関わる諸問題を多角的に把握し、問題解決を図るための能力を身につける。

《作業療法学科》

7. 意味のある作業の可能化を支援するために、高い倫理性・豊かな社会性と共に、科学的思考力及び問題解決能力を身につける。